

1. 調査目的

超少子高齢社会の進展に伴い、今後は看護職として就業する若年者の大幅な増加は見込めない状況である。その中で、看護提供体制を維持していくためには、看護職ができるだけ長く、健康で働き続けられる、持続可能な働き方の実現と、これを支える職場環境の整備が喫緊の課題である。

今回、看護職が自施設に限らずどのような職場環境が就業継続可能な職場と考えているのかを明らかにすることを目的として実施したアンケート結果を報告する。

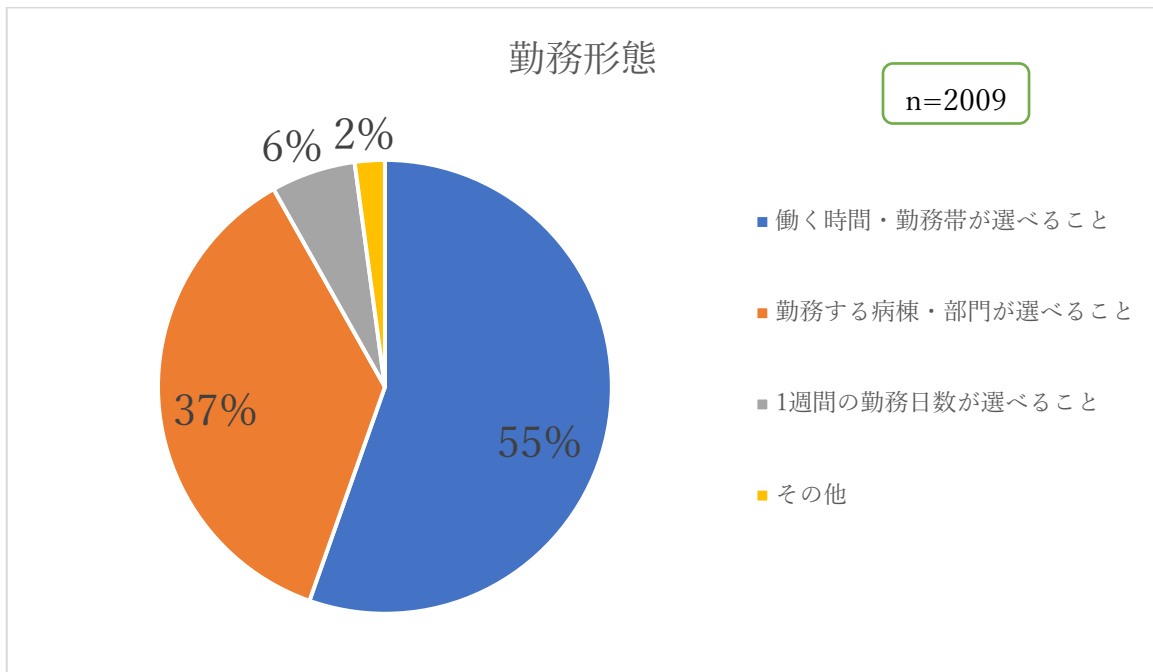
2. 調査概要

- 1) 期間：令和6年8月30日～令和6年9月30日
- 2) 対象：長崎県内で看護協会に所属する施設（261施設）で働く正規看護職
- 3) 回答数：2009名（有効回答2009）

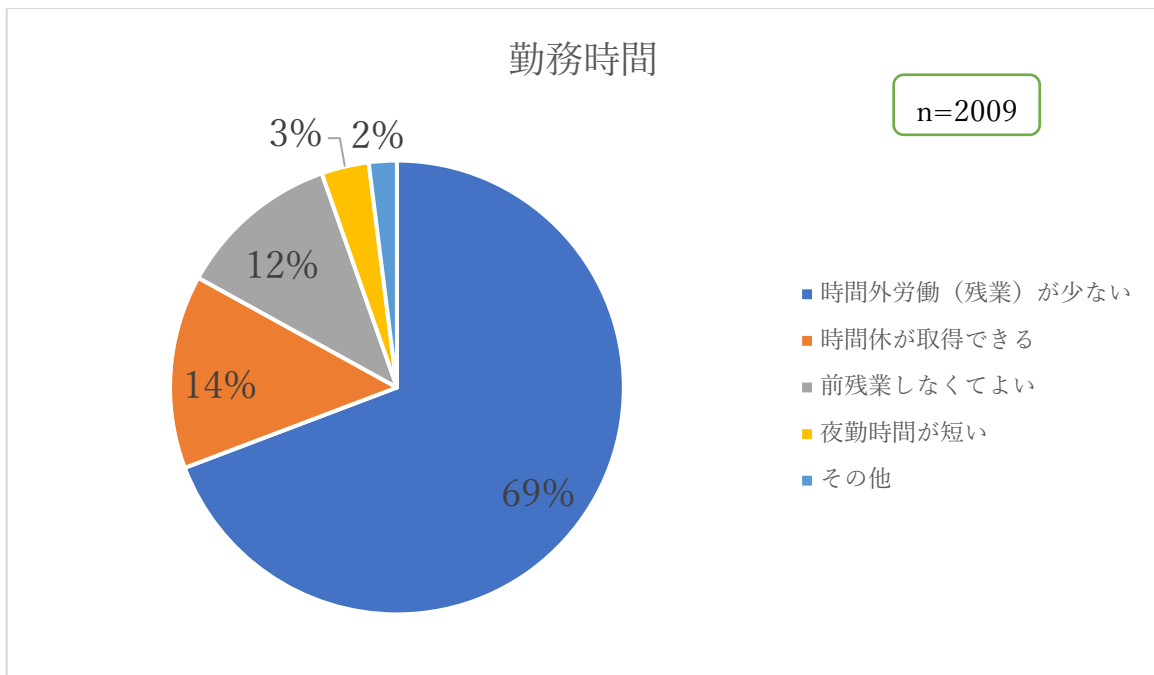
3. 結果

【職場環境について】

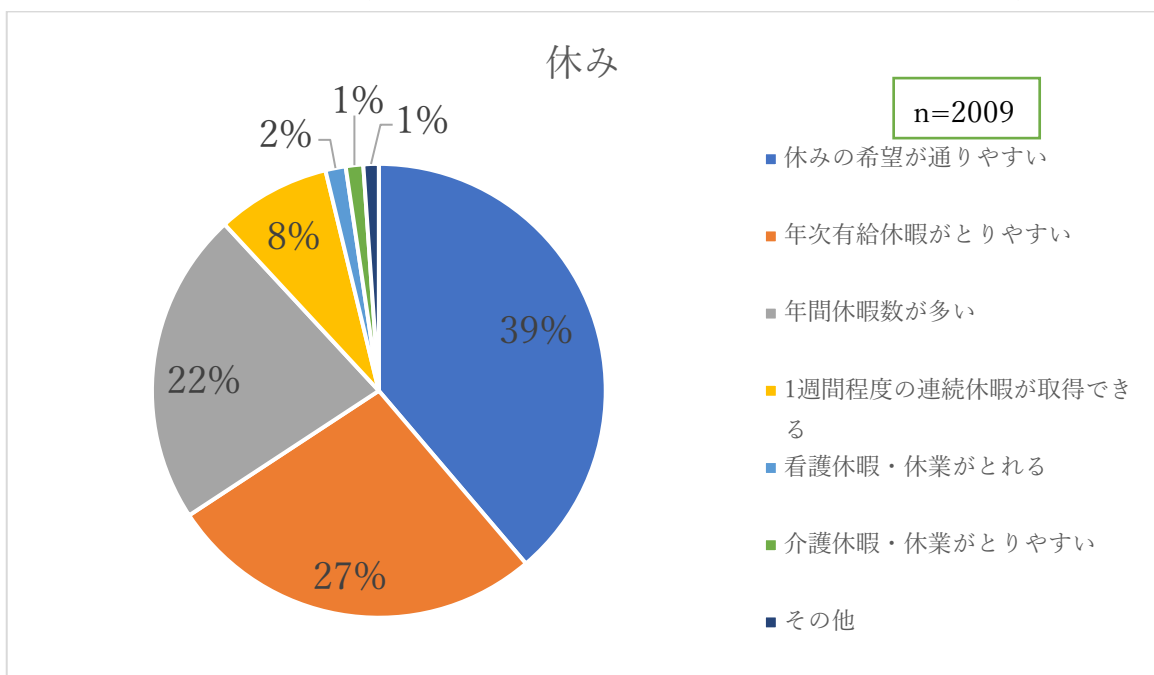
1. 勤務形態についてお伺いします（もっとも重要だと思う項目を1つ選択してください）



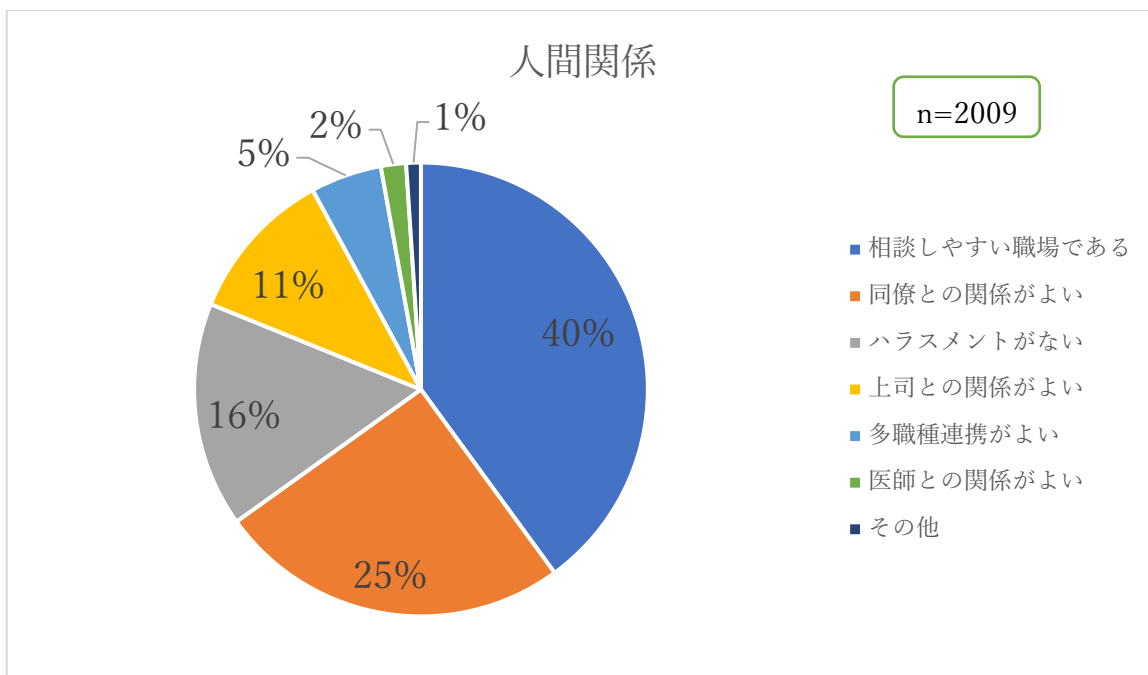
2. 勤務時間についてお伺いします（もっとも重要だと思う項目を1つ選択してください）



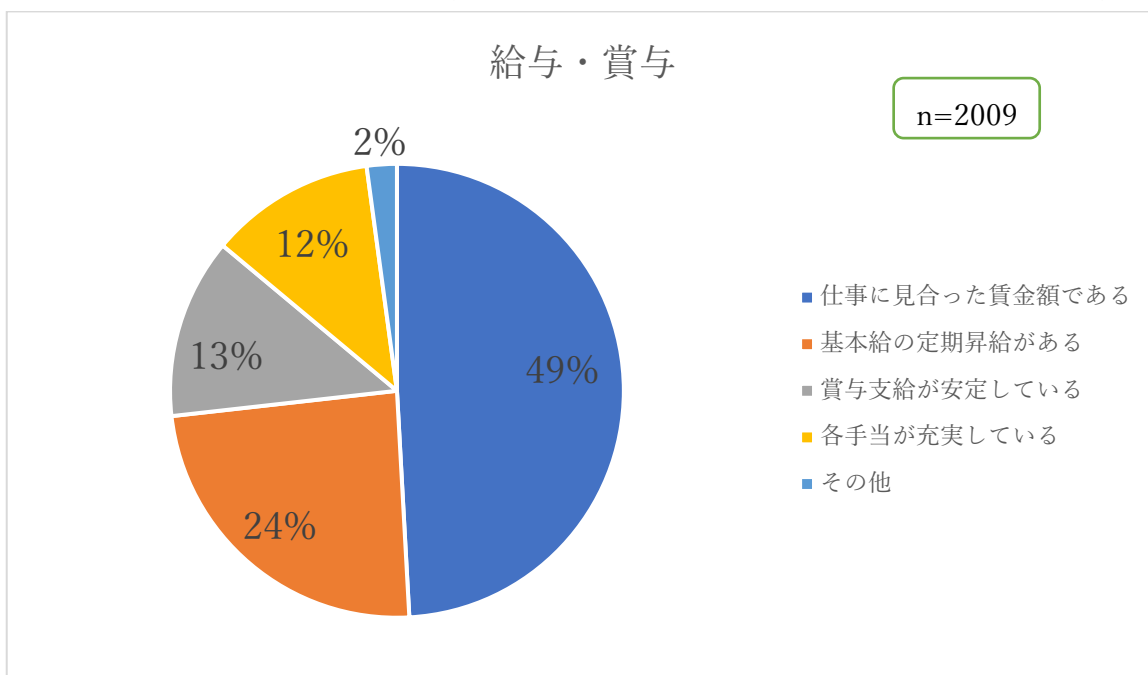
3. 休みについてお伺いします（もっとも重要だと思う項目を1つ選択してください）



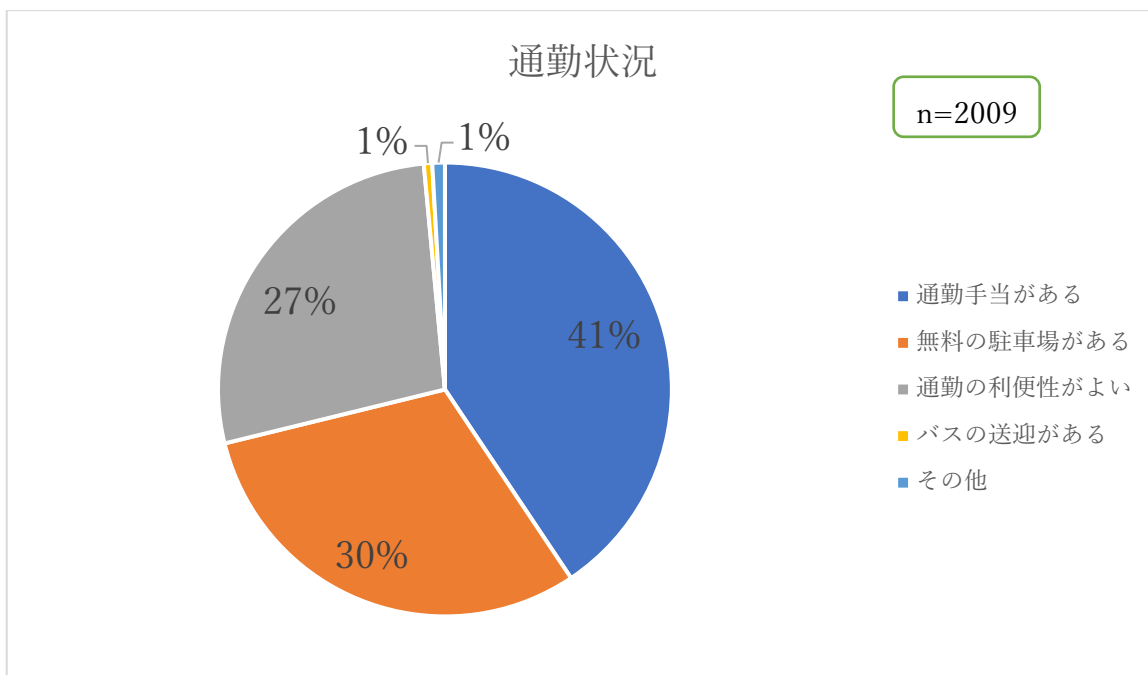
4. 人間関係についてお伺いします（もっとも重要だと思う項目を1つ選択してください）



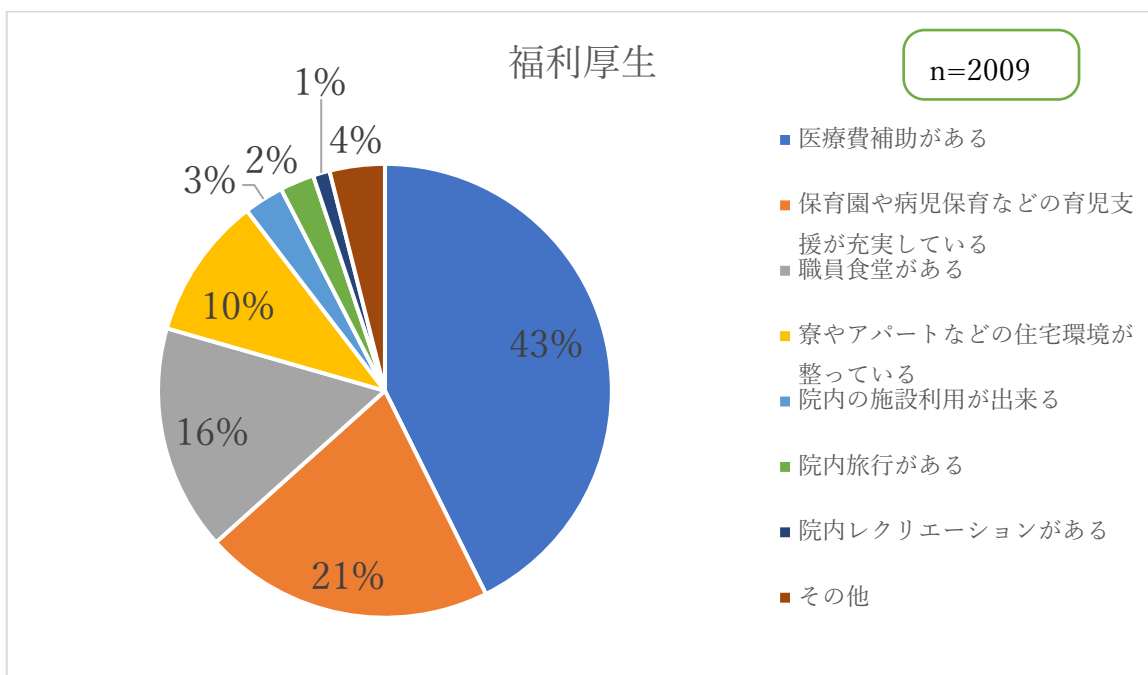
5. 給与・賞与についてお伺いします（もっとも重要だと思う項目を1つ選択してください）



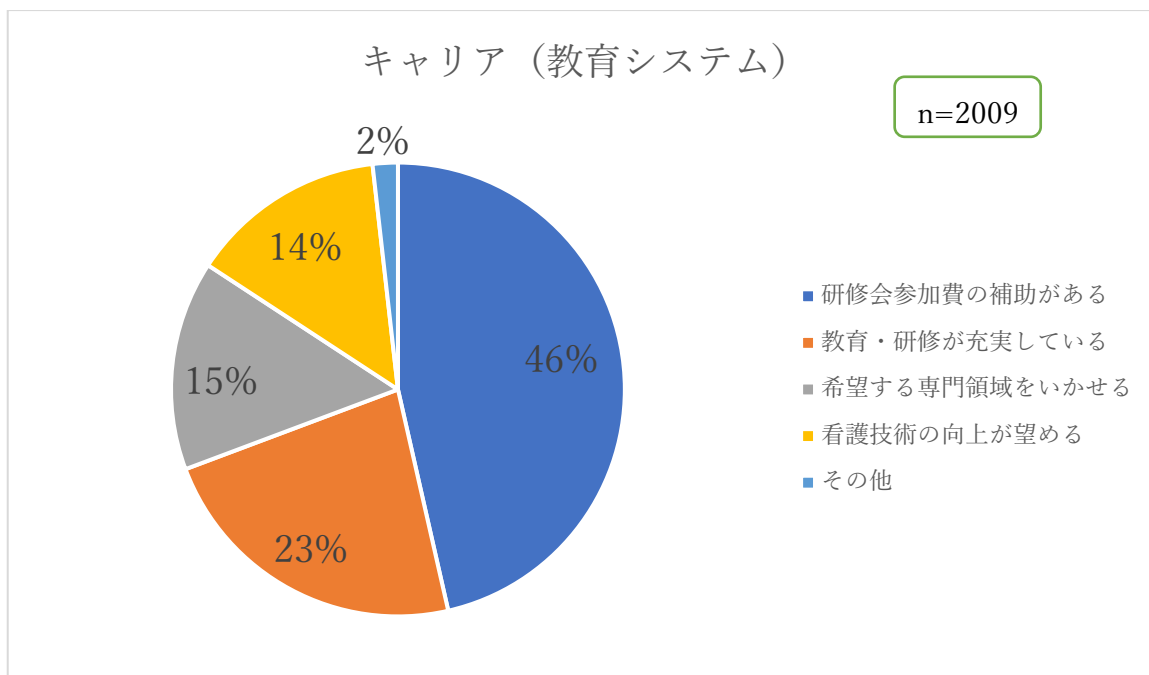
6. 通勤状況についてお伺いします（もっとも重要だと思う項目を1つ選択してください）



7. 福利厚生についてお伺いします（もっとも重要だと思う項目を1つ選択してください）

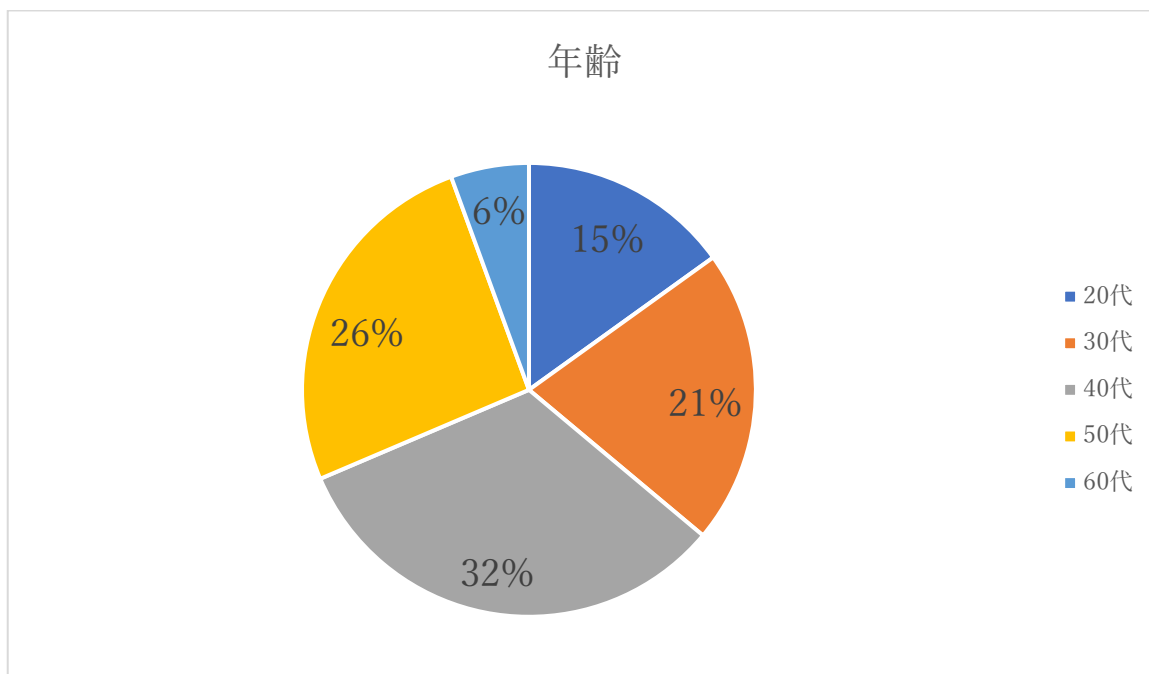


8. キャリア支援（教育システム）について（もっとも重要だと思う項目を1つ選択してください）

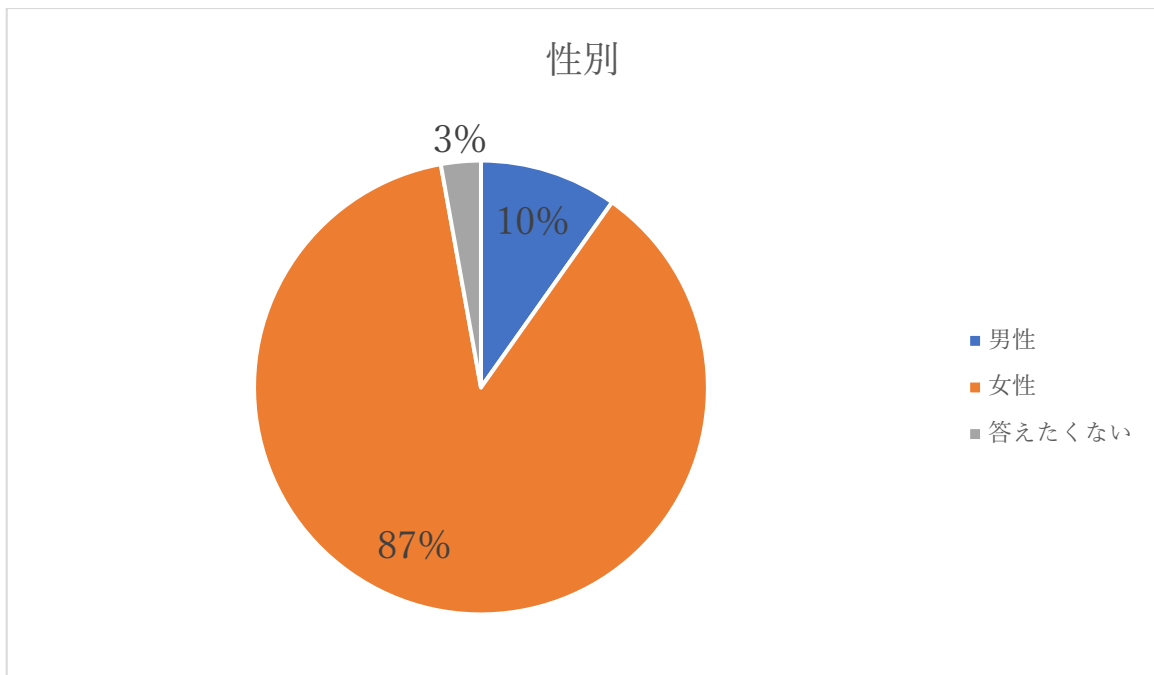


【基本属性】

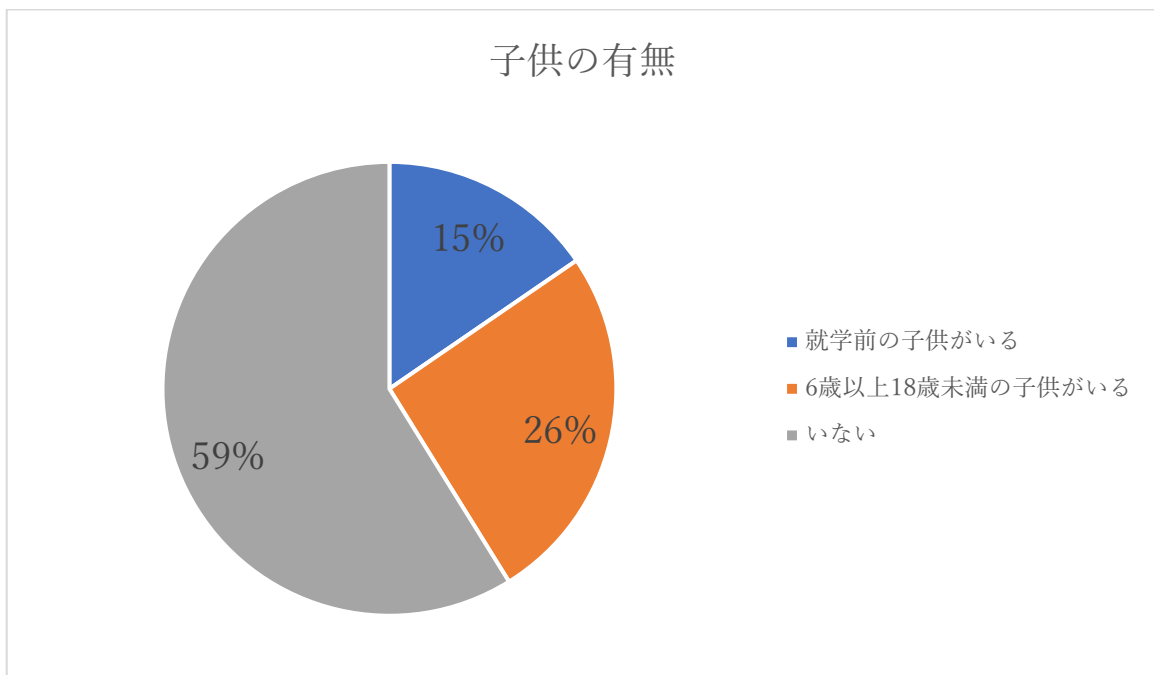
9. 年齢



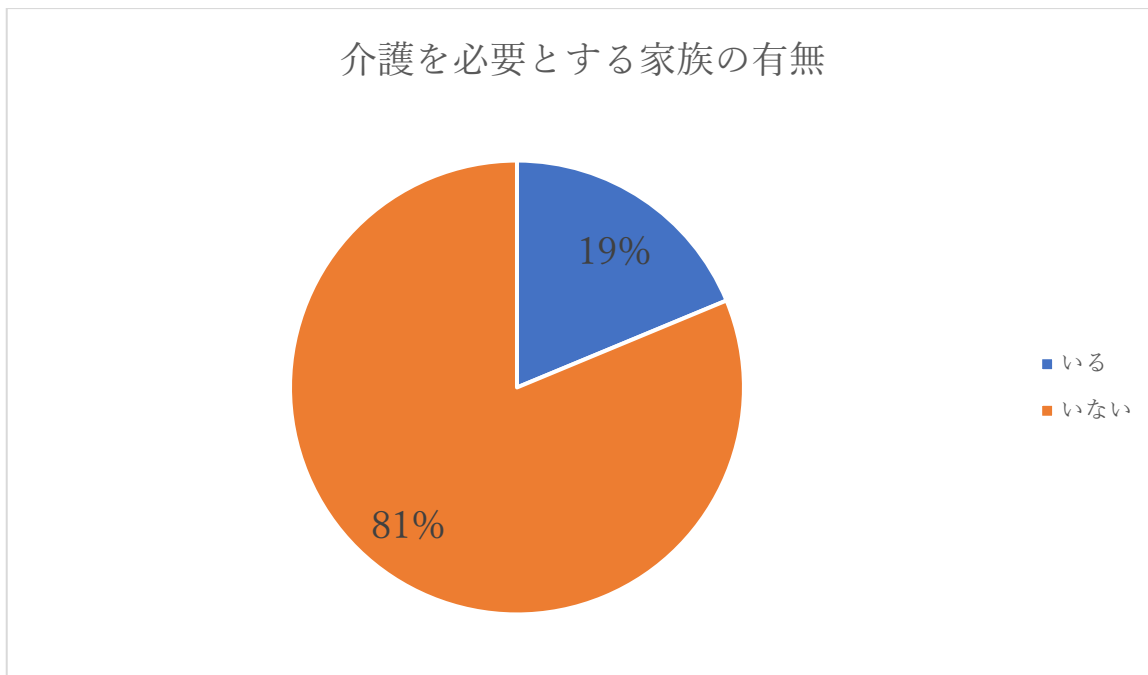
10. 性別



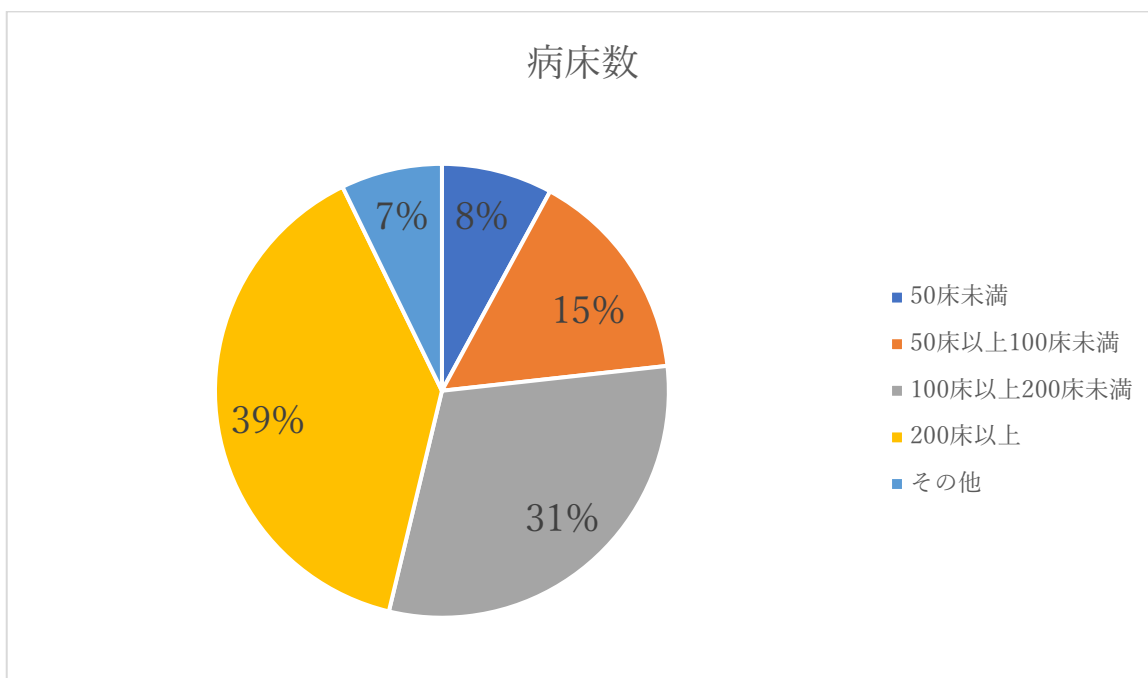
11. 子供の有無（当てはまるものをすべて選択してください）



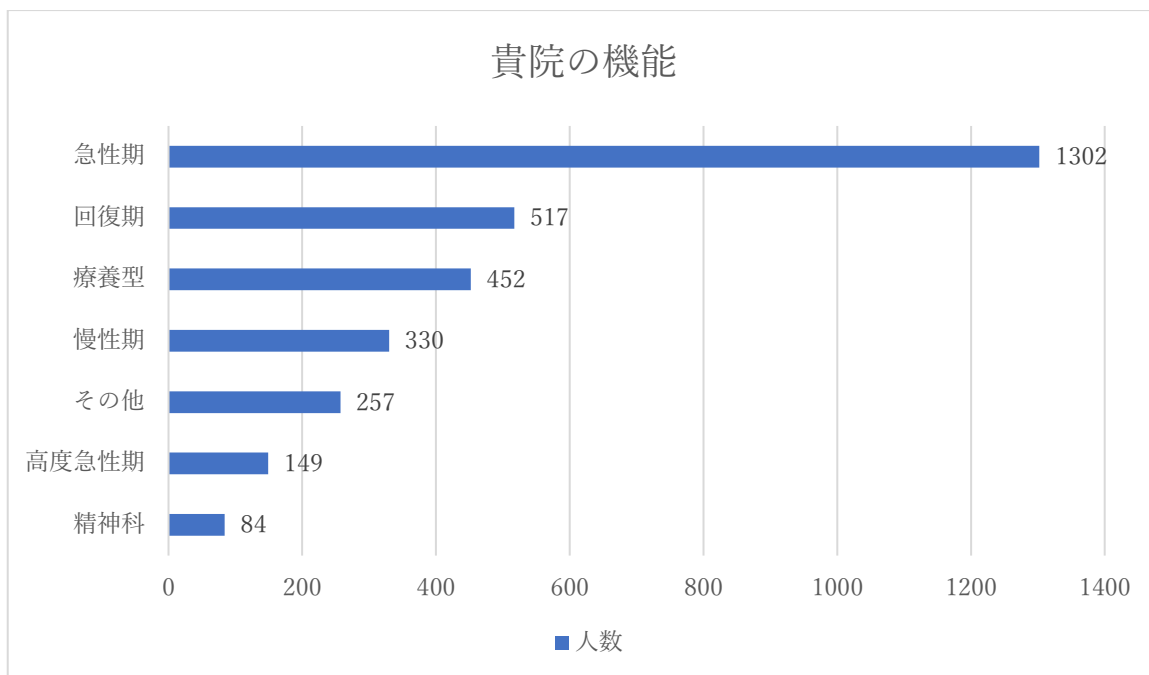
12. 介護を必要とする家族の有無



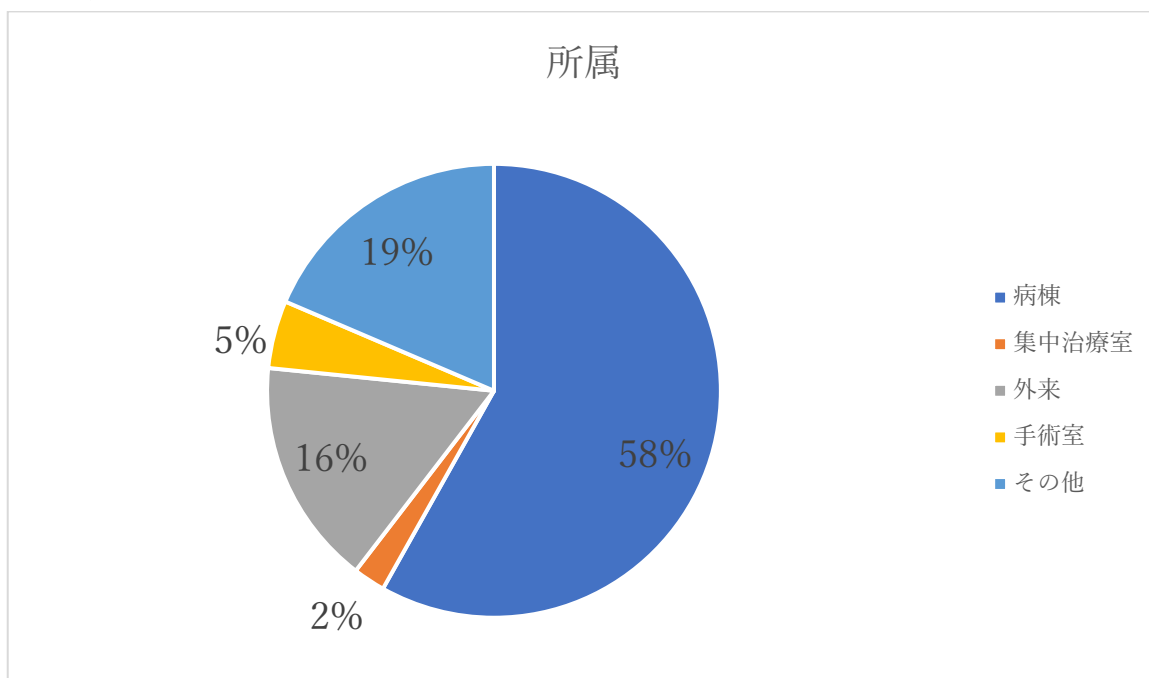
13. 所属施設について



14. 貴院の機能について (当てはまるものをすべて選択してください)

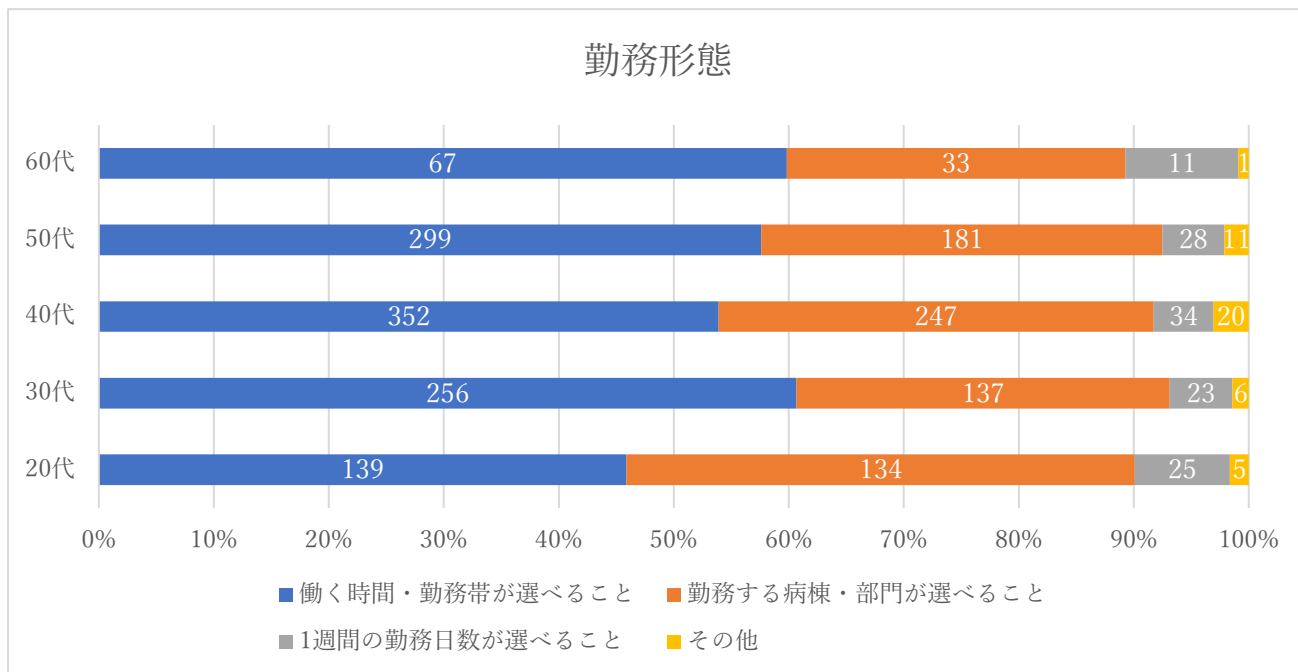


15. 所属 (1つだけ選択してください)

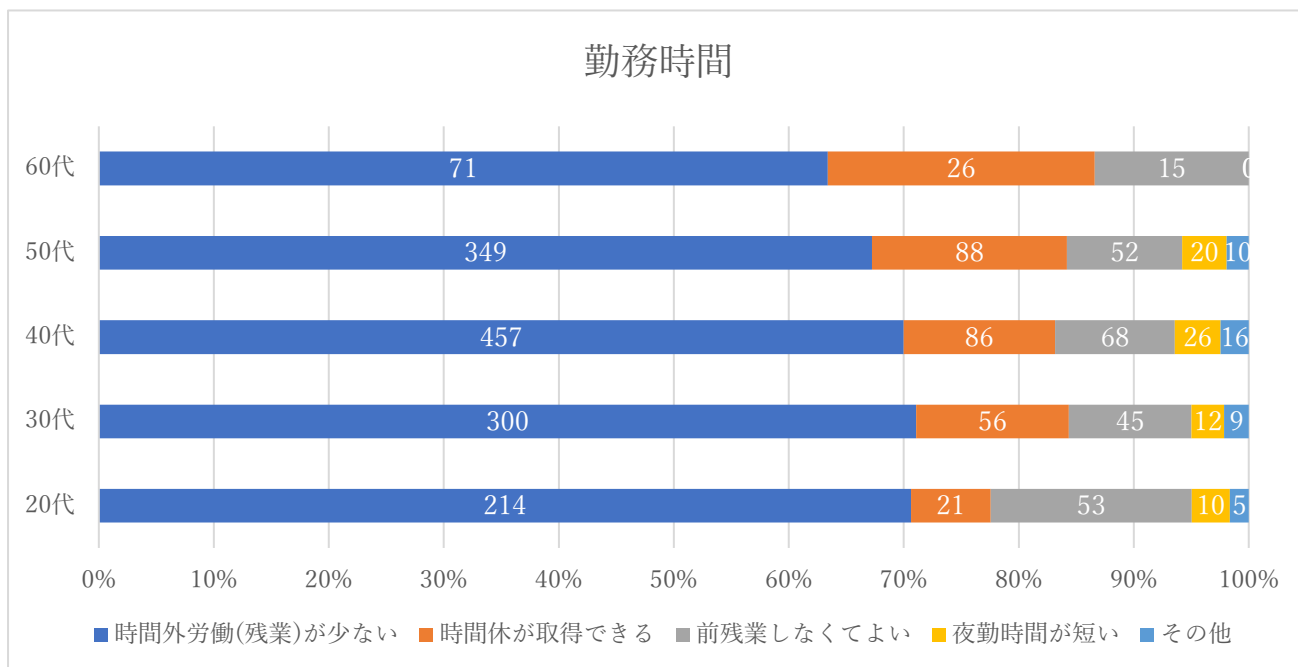


属性別集計

1. 年齢別

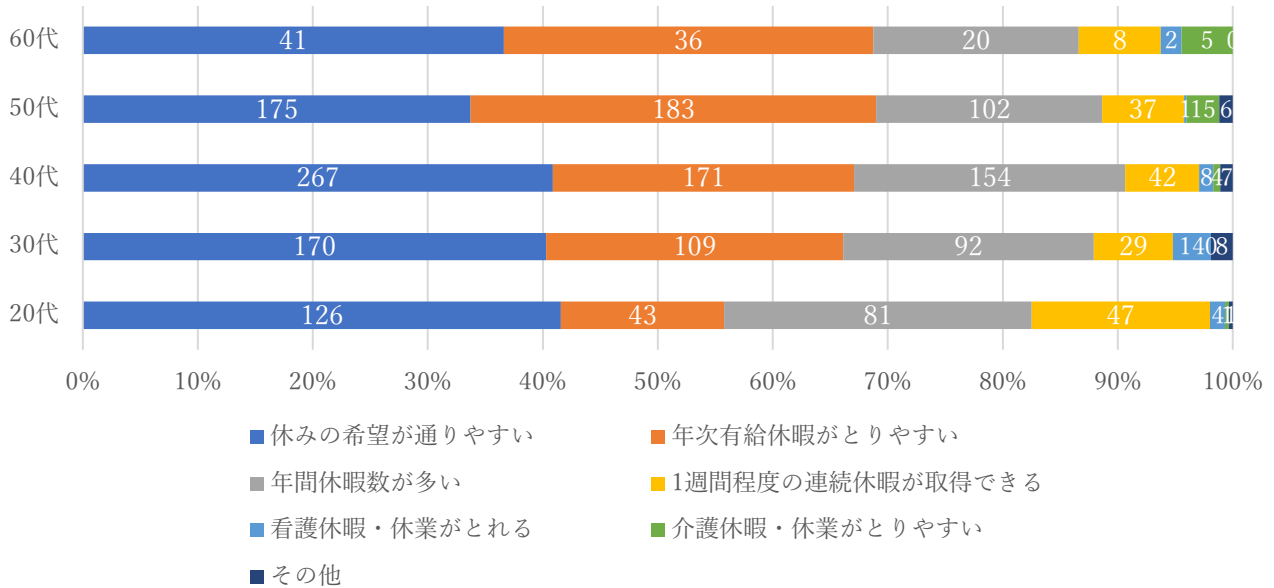


- ・ 20代は「働く時間・勤務帯が選べること」と「勤務する病棟・部門が選べること」がほぼ同数。
- ・ 30代以降は、「働く時間・勤務帯が選べること」が最も多く50%以上であった。



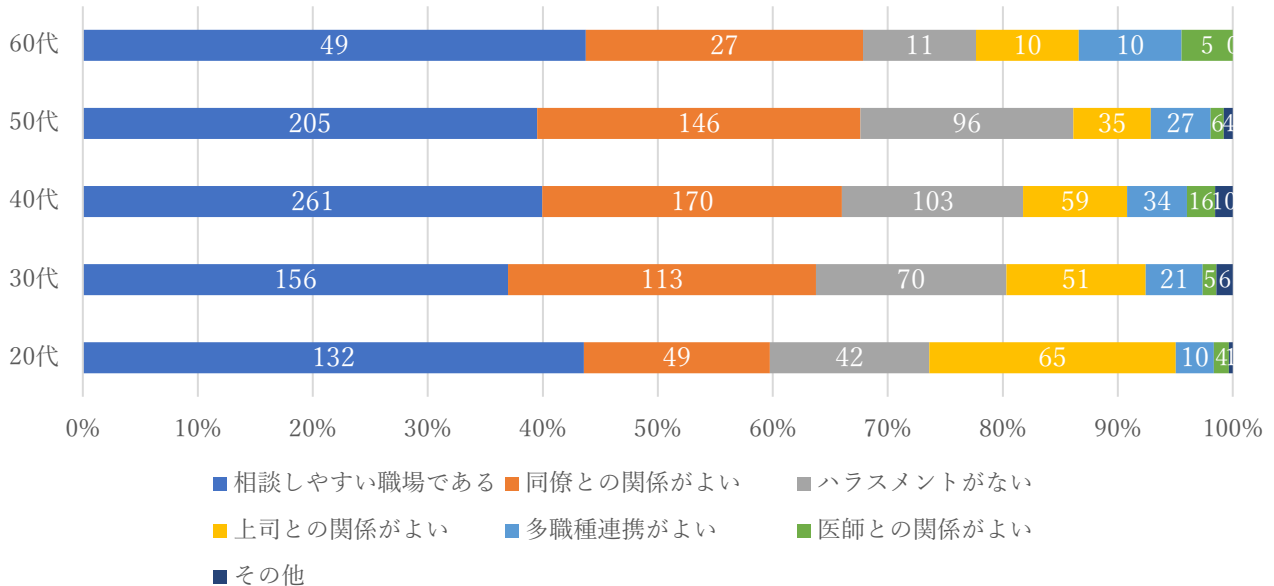
- ・ 全年代で「時間外労働(残業)が少ない」が60%以上で最も多い。
- ・ 年代が上がるにつれて「時間休が取得できる」の割合が多くなっている。
- ・ 20代は、「前残業しなくてよい」の割合が多い。

休み



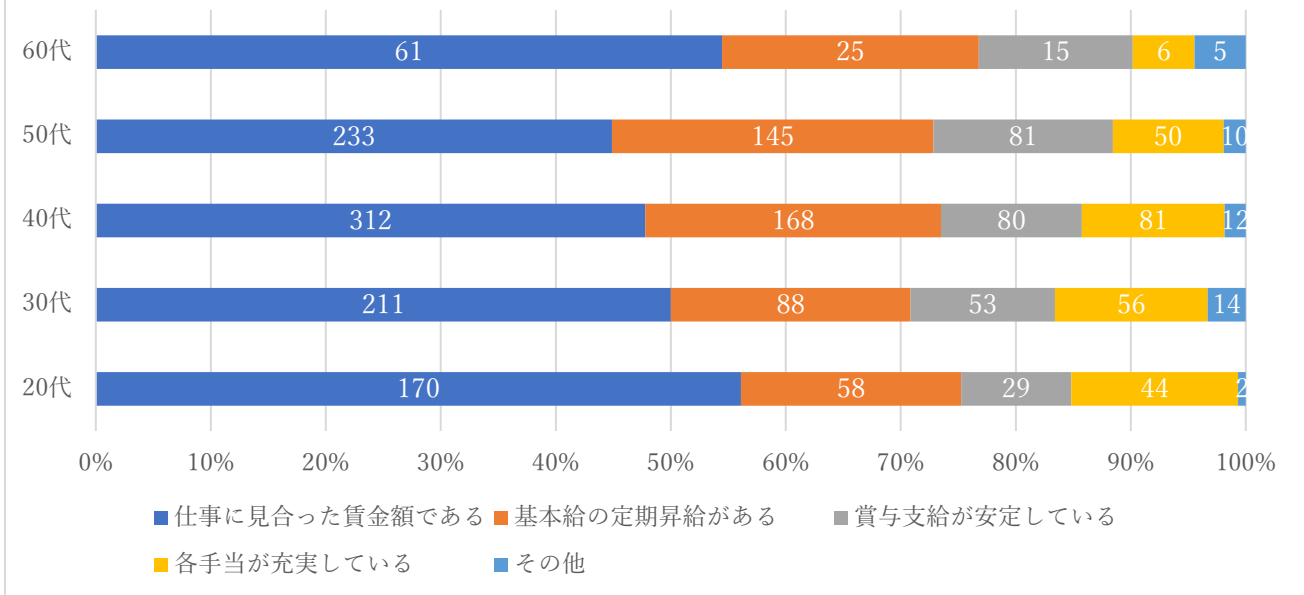
- ・ 全年代で、「休みの希望が通りやすい」が多いが、50代のみ「年次有給休暇がとりやすい」が最も多い。
- ・ 20代は、「1週間程度の連続休暇が取得できる」「年間休暇数が多い」の割合が多い。

人間関係



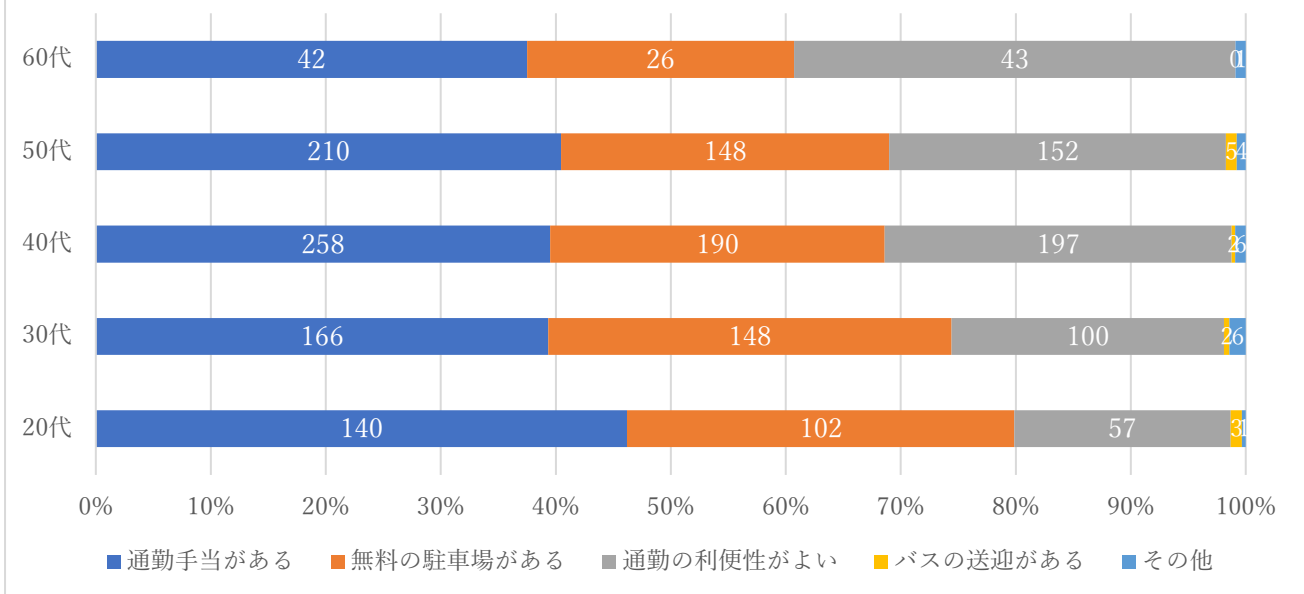
- ・ 全年代で、「相談しやすい職場である」が最も多い。
- ・ 20代は、「上司との関係がよい」の割合が多い。

給与・賞与



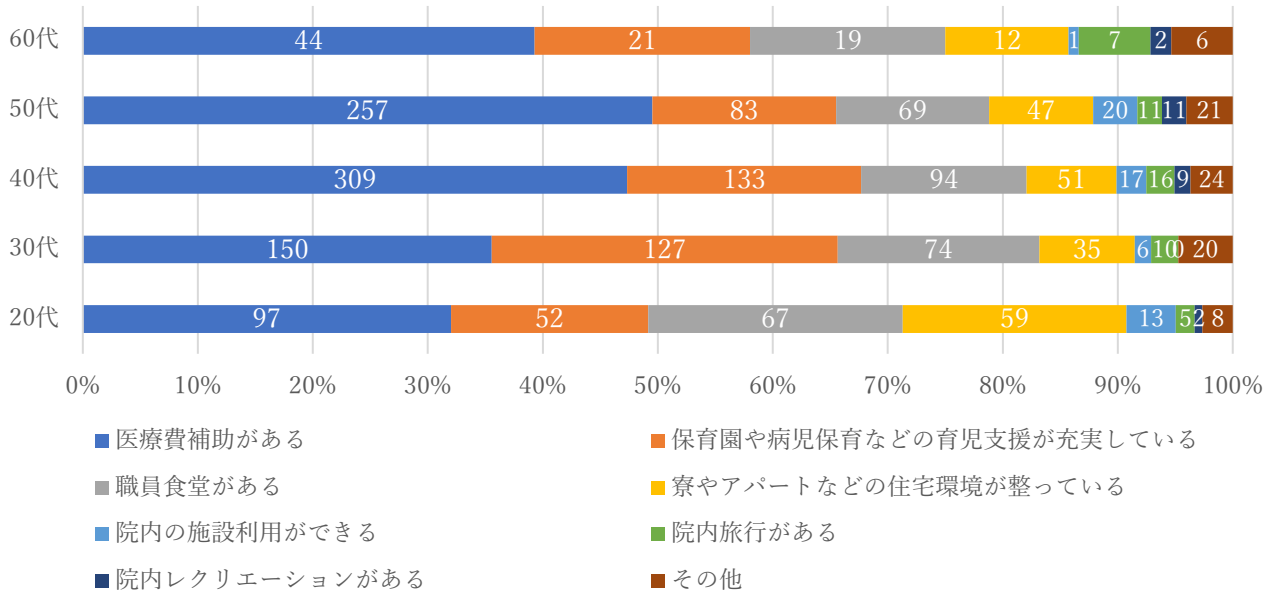
- ・ 全年代で 「仕事に見合った賃金額である」 が最も多い。
- ・ 「基本給の定期昇給がある」 については、60代も含め全年代で2番目に多い。

通勤状況



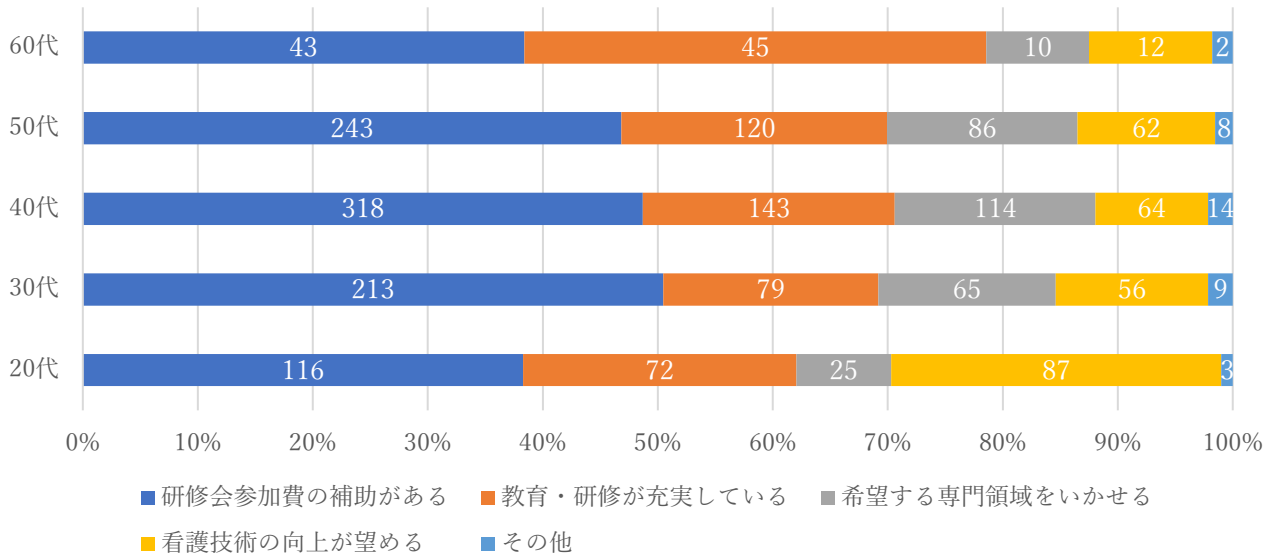
- ・ 全年代で、「通勤手当がある」が多い。
- ・ 20～30代は、「無料の駐車場がある」の割合が多い。
- ・ 60代は、「通勤の利便性がよい」が最も多い。

福利厚生



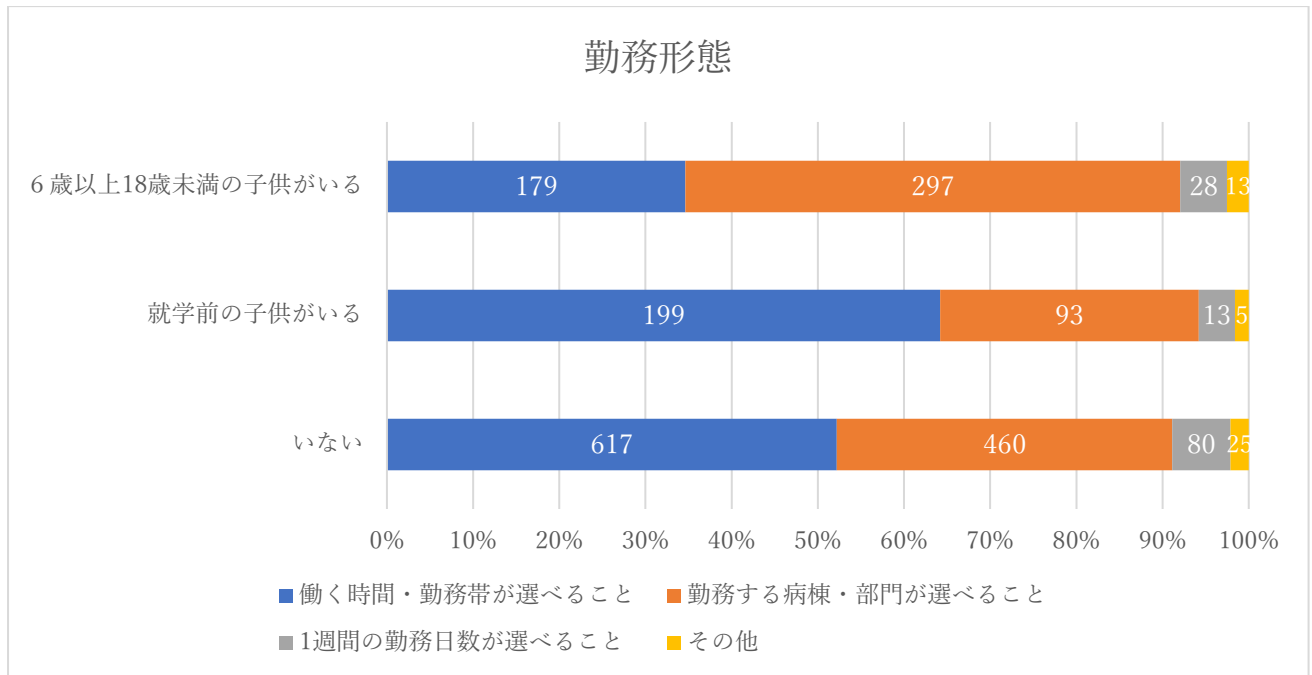
- ・ 全年代は、「医療費補助がある」が最も多い。
- ・ 20代は、「職員食堂がある」「寮やアパートなどの住宅環境が整っている」の割合が多い。
- ・ 30代は、「保育園や病児保育などの育児支援が充実している」の割合が多い。

キャリア支援（教育システム）

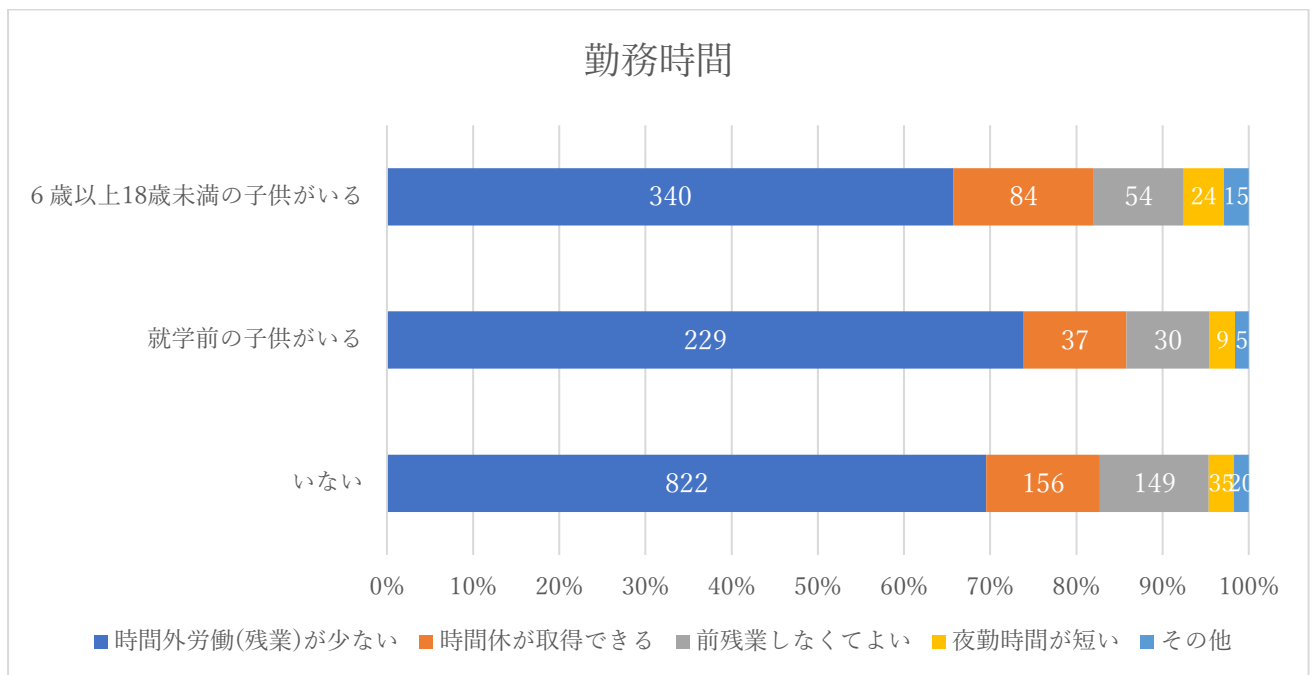


- ・ 20代～50代は、「研修会参加費の補助がある」が最も多いが、60代は「教育・研修が充実している」が最も多い。
- ・ 20代は、「看護技術の向上が望める」の割合が多い。

2. 子供の有無

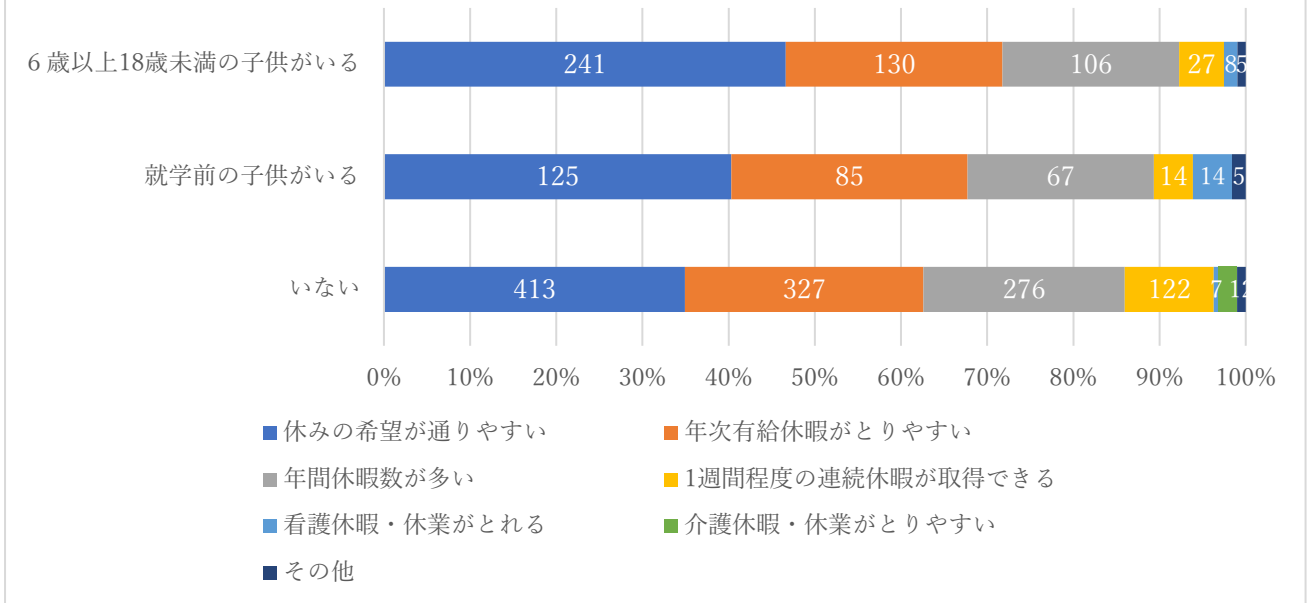


- ・ 6歳以上18歳未満の子供がいる人は、「勤務する病棟・部門が選べること」が最も多い。
- ・ 就学前の子供がいる人といない人は、「働く時間・勤務帯が選べること」が最も多い。



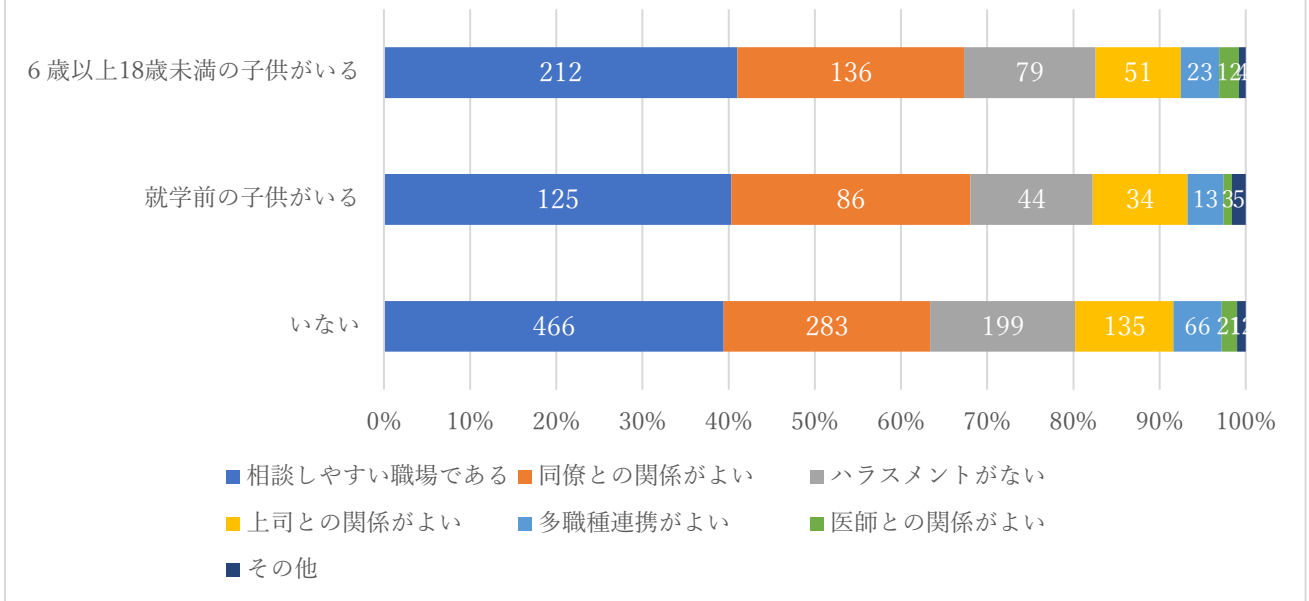
- ・ 子供の有無に関わらず、「時間外労働(残業)が少ない」が最も多い。

休み



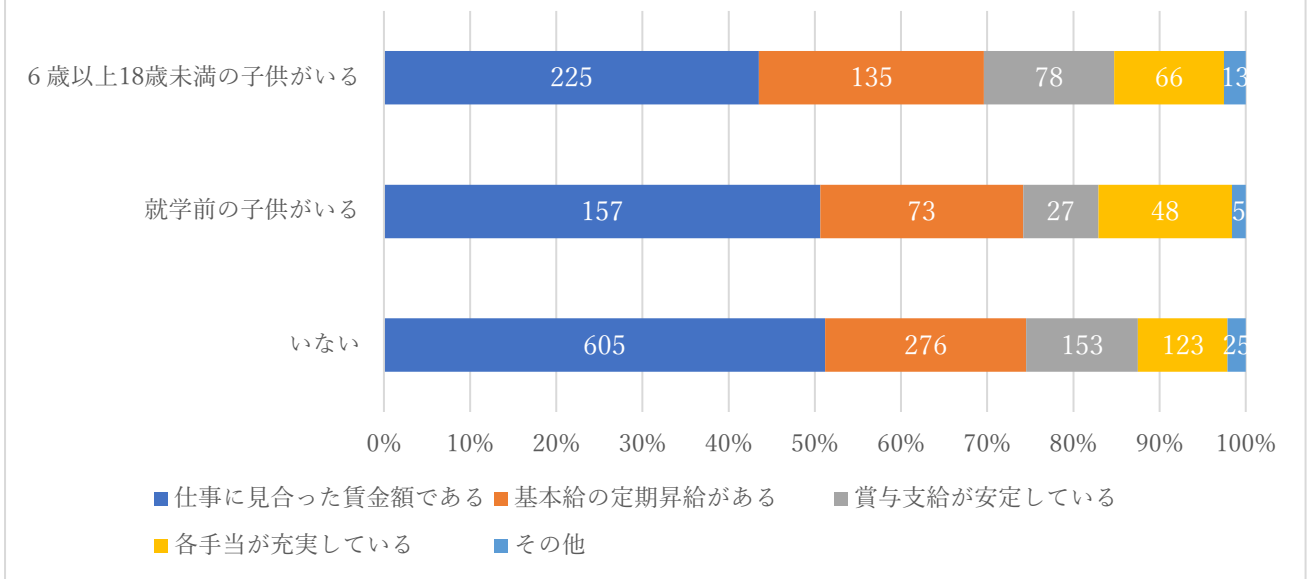
- ・ 子供の有無に関わらず、「休みの希望が通りやすい」が最も多い。

人間関係



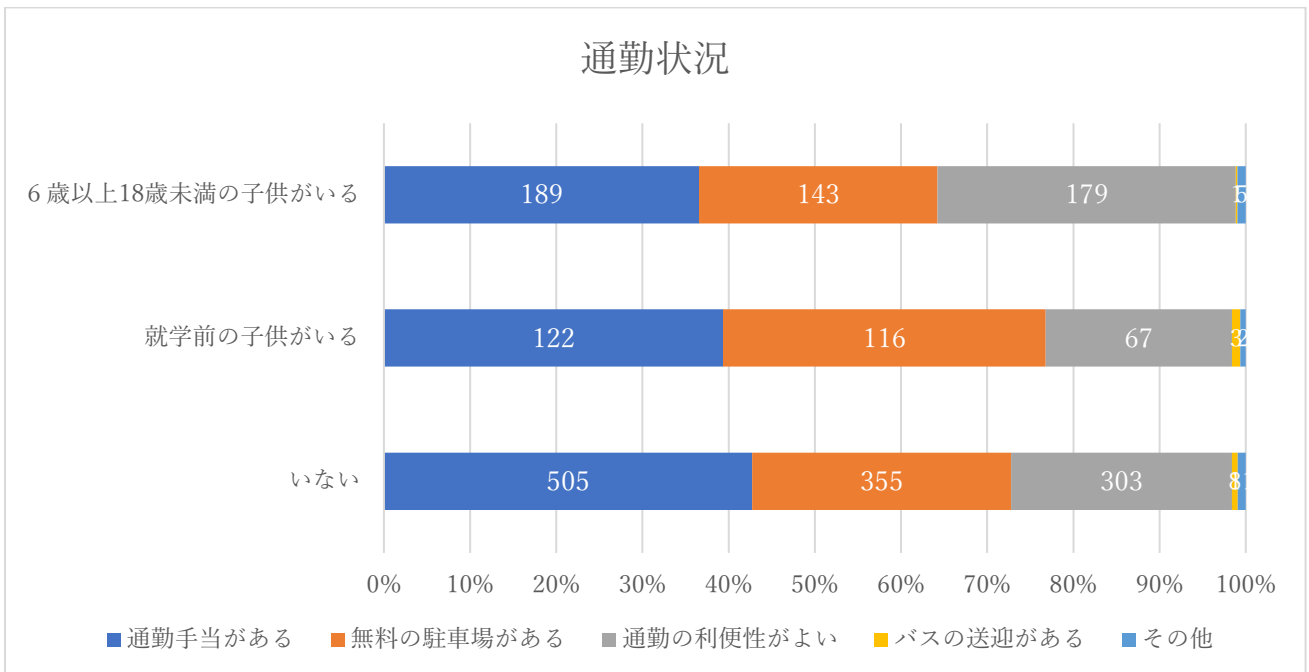
- ・ 子供の有無に関わらず「相談しやすい職場である」が最も多い。

給与・賞与



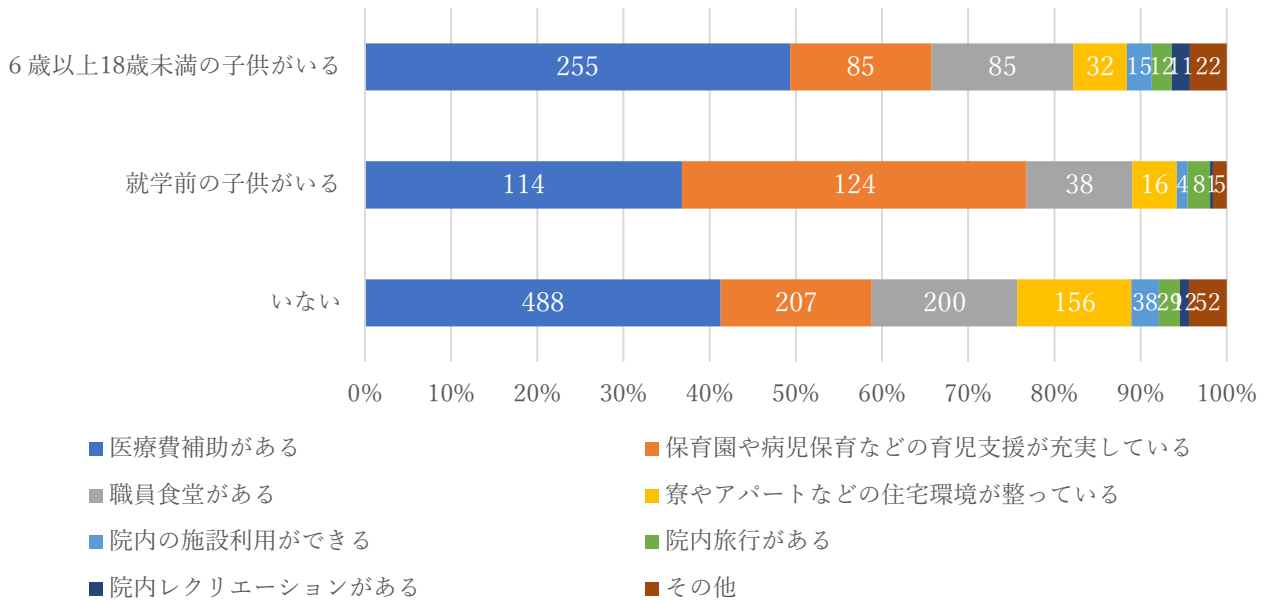
- ・ 子供の有無に関わらず、「仕事に見合った賃金額である」が最も多い。

通勤状況



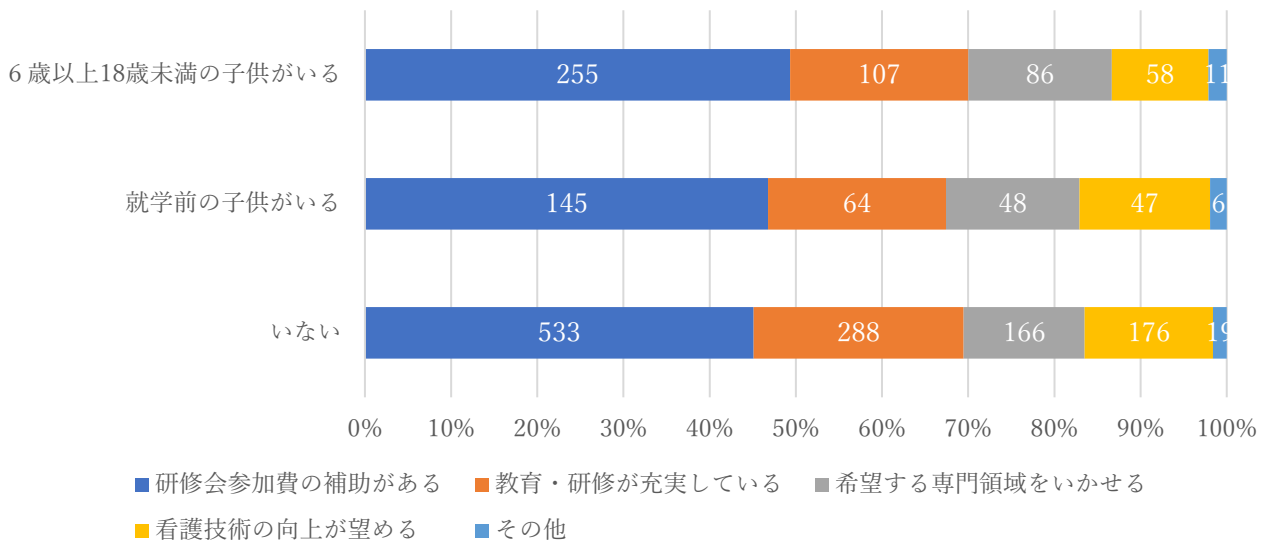
- ・ 子供の有無に関わらず、「通勤手当がある」が最も多い。

福利厚生



- ・ 子供の有無に関わらず、「医療費補助がある」が多い。
- ・ 就学前の子供がいる人は、「保育園や病児保育などの育児支援が充実している」が最も多い。

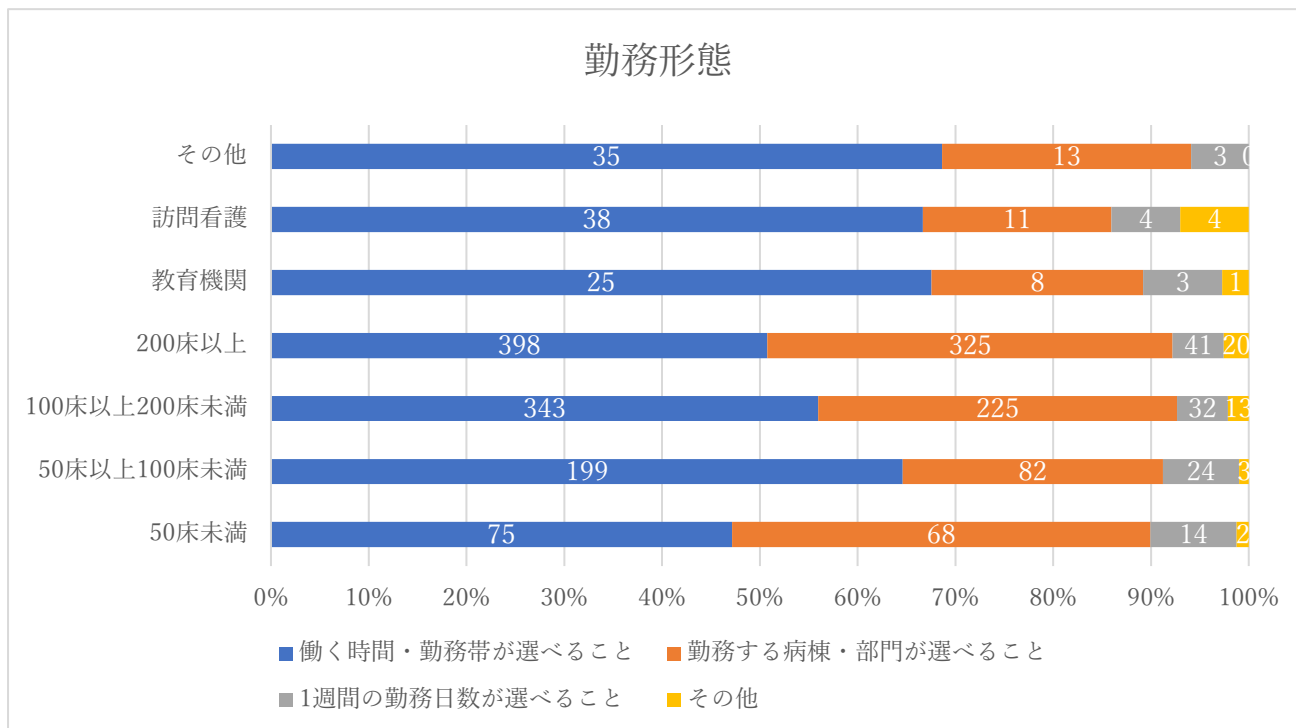
キャリア支援（教育システム）



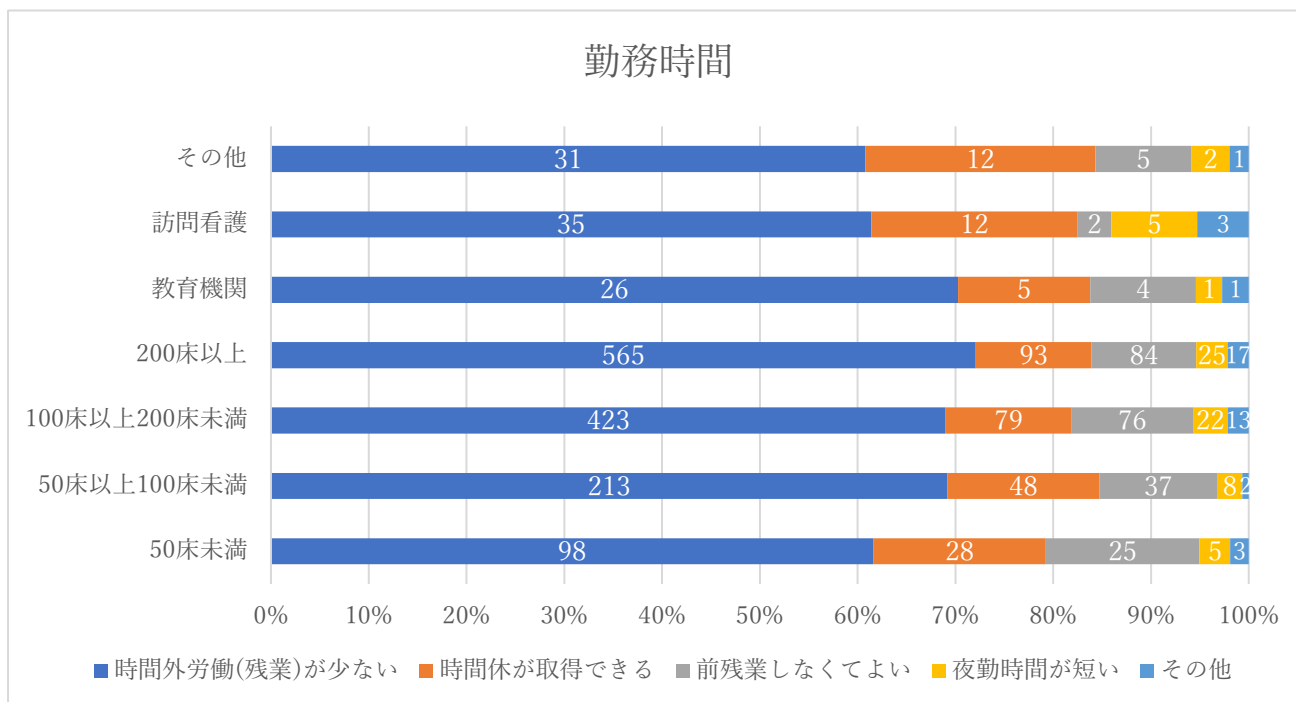
- ・ 子供の有無に関わらず、「研修会参加費の補助がある」が最も多い。

3. 所属施設別

※所属施設「その他」は、クリニック・施設・行政など

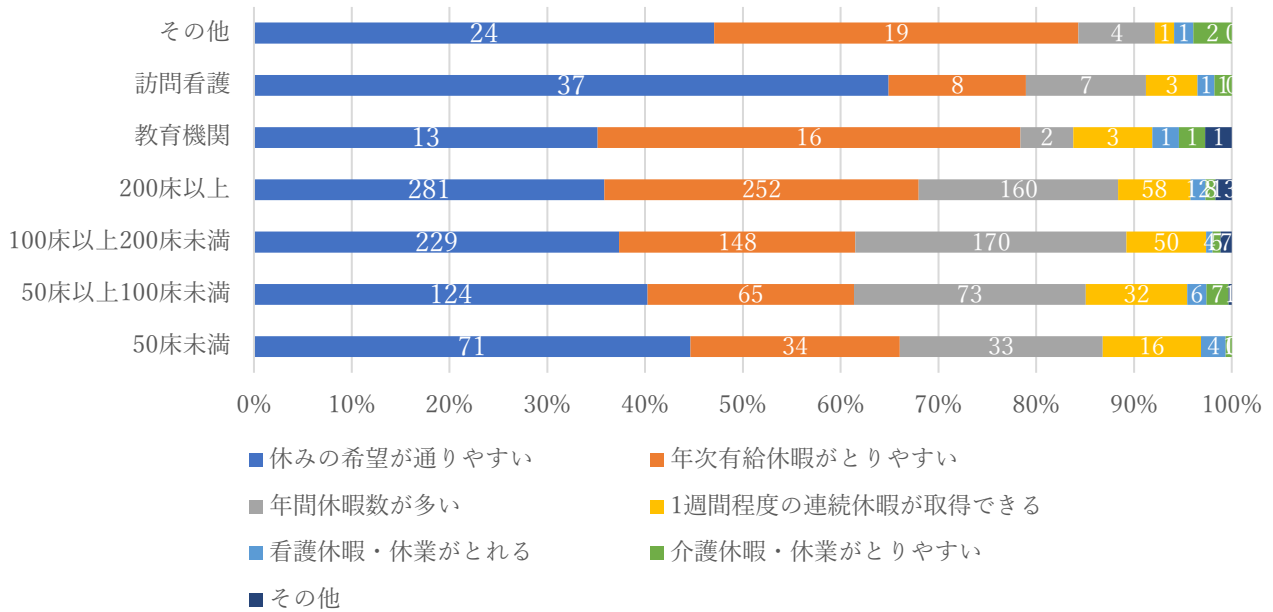


- ・ 全所属において、「働く時間・勤務帯が選べること」が最も多い。



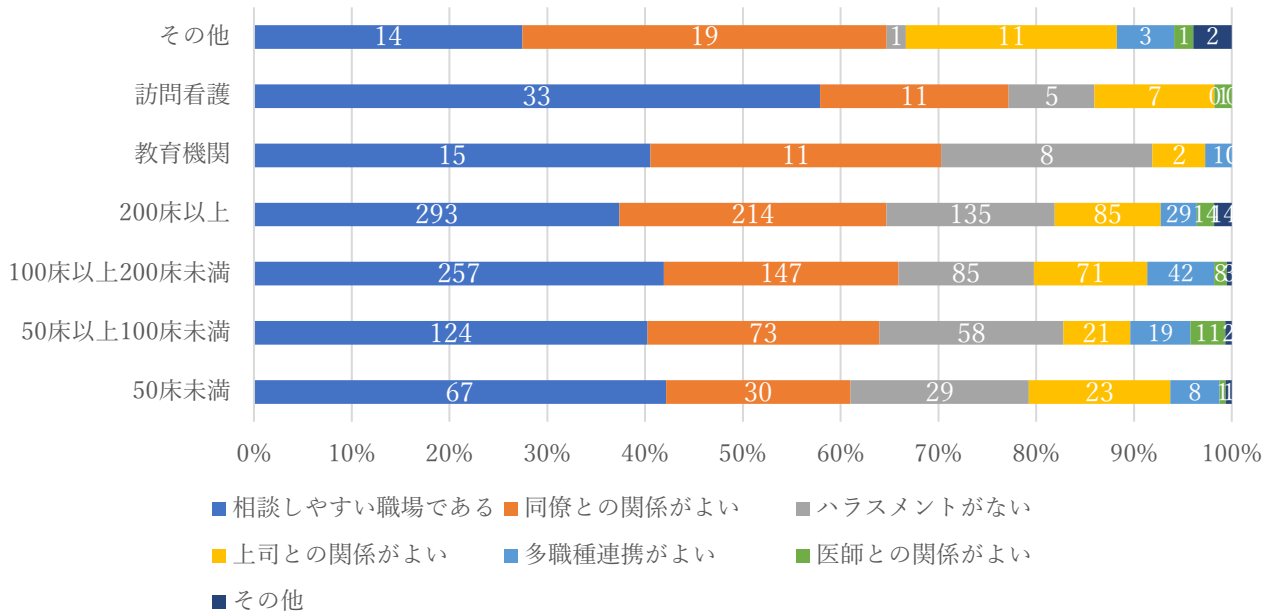
- ・ 全所属において、「時間外労働（残業）が少ない」が最も多い。

休み



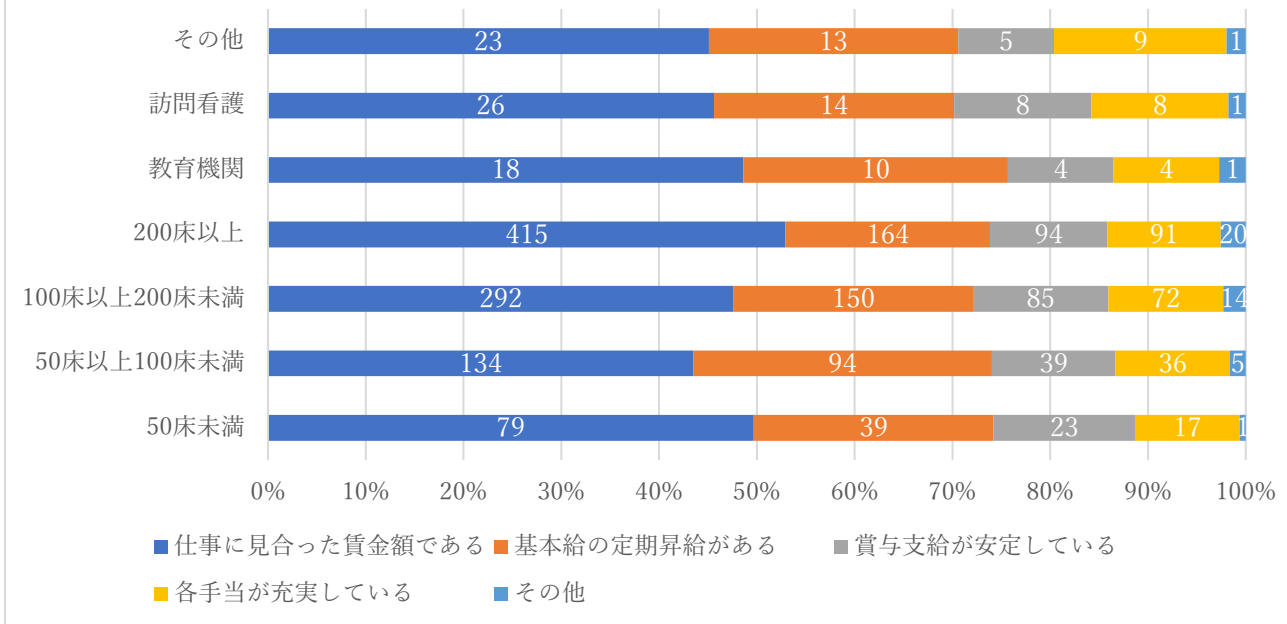
- ・ 全所属において、「休みの希望が通りやすい」が多いが、訪問看護が特に多い。
- ・ 教育機関は「年次有給休暇がとりやすい」が最も多い。

人間関係



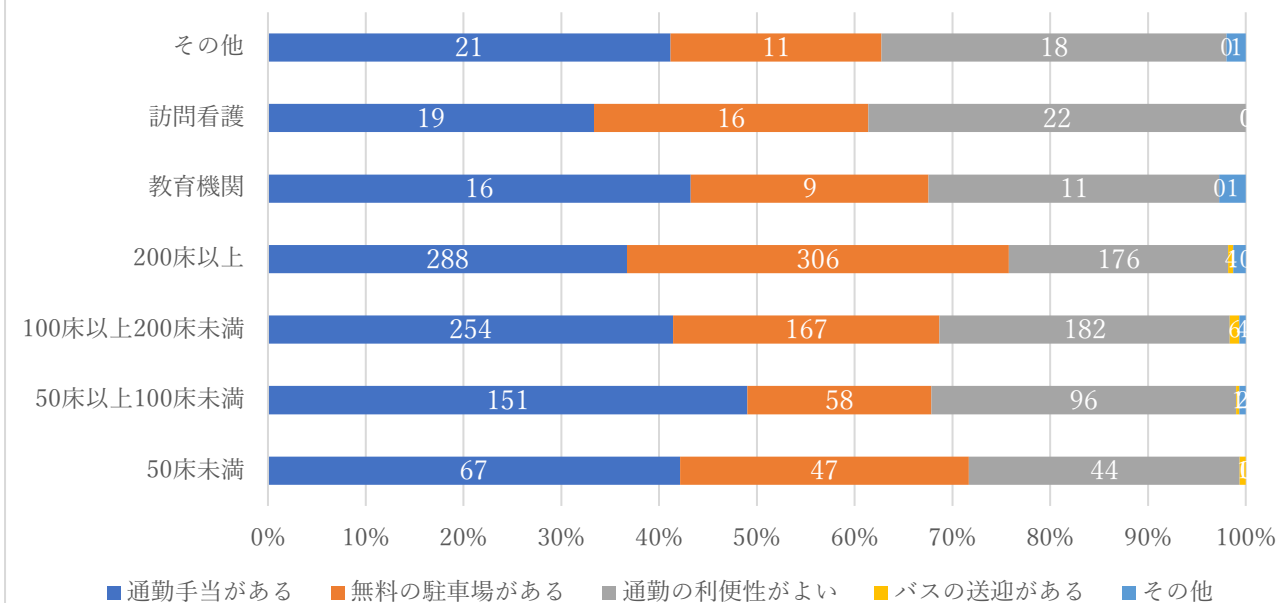
- ・ 全所属において、「相談しやすい職場である」が多い。
- ・ その他（クリニック・施設・行政など）は、「同僚との関係がよい」が最も多い。

給与・賞与



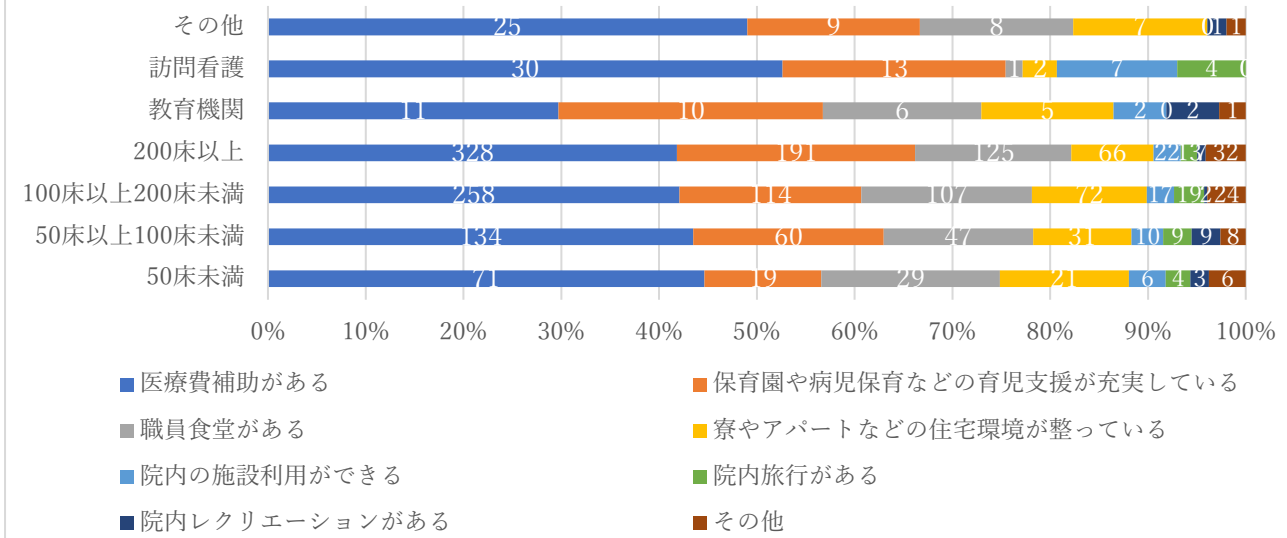
- ・ 全所属において、「仕事に見合った賃金額である」が最も多い。

通勤状況



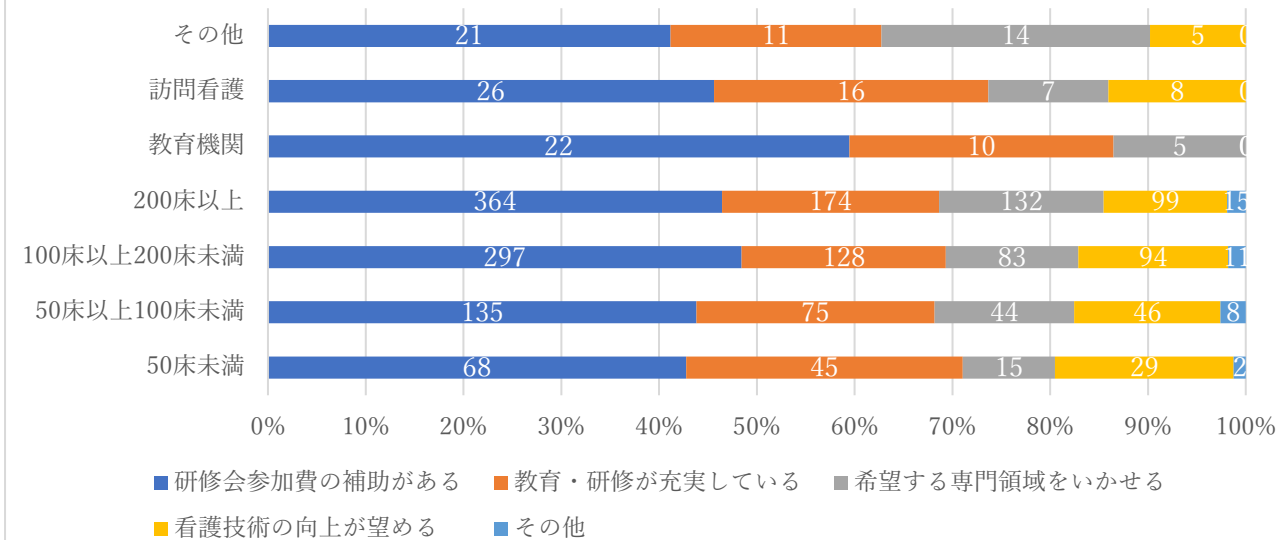
- ・ 全所属において、「通勤手当がある」が多い。
- ・ 200床以上は、「無料の駐車場がある」が最も多い。
- ・ 訪問看護は、「通勤の利便性がよい」が最も多い。

福利厚生



- ・ 全所属において、「医療費補助がある」が最も多い。

キャリア支援（教育システム）



- ・ 全所属において、「研修会参加費の補助がある」が最も多い。

4. 今後の課題

今回、看護職の労働環境の改善に向け、就業継続が可能な職場と考えているのか意見を多数頂き、看護職員が何を重要視しているのかが明らかとなった。また自由記載でも 313 件の意見を頂き、多くの課題があることを実感した。今後は、実施したアンケート内容の集計分析を進め、結果を情報提供していく。また各施設の管理者等に向け交流会を開催し、課題を可視化し共有することで、すべての看護職が働き続けられる環境づくりの取り組みの一助となるように働きかけていきたい。